

第16回牛乳紙パックで  
『遊ぶ学ぶ』  
コンクール2016

# “気づき”の記録

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、牛乳をはじめとする各種飲料用紙パックを素材とした工作の機会を提供することで、より多くの子どもたちに造形活動に楽しく取り組んでもらいたいと思っています。また、工作を通じて環境への思いやりを育みたいと、紙の循環や森林資源、地域や地球にやさしい行動など、気付いたこと、思ったことを感想文に書いてもらっています。この記録は、2016年の佳作以上に入賞した30名の子ども達の感想文集です。



編集・発行  
協 賛

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」実行委員会  
全国牛乳容器環境協議会、一般社団法人日本乳業協会

## 最優秀賞

### 『田んぼの見張り番』

田尻 絢楓さん 兵庫県加古川市立加古川小学校 3 年

田んぼにかかしが立っていたのを見て、雨にぬれても強い牛乳パックでかかしをつくってみたいと思いました。まず、顔と体をつくって、どうしたら目立つか考えて、いろいろな色の牛にゅうパックをつかって、服をきせました。服は、ほそく切って風になびくようにしました。顔の「の」の字の中を切るの、かたくてむずかしかったです。牛にゅうパックは、20 コくらいつかいました。できあがって、おばあちゃんの田んぼにもっていったてみると、とても目立って、これで鳥も近よらないかなと思いました。おいしいお米がとれるのがとても楽しみです。



## 優秀賞

### 『ドキドキ! ミルク式土器』

高田 悠里さん 千葉県習志野市立実習小学校 6 年

「リサイクル」は、古代の人からの宿題です。だから私は、牛乳パックの工作で縄文時代の火炎式土器を作り、古代と今をリサイクルの心でむすびたいと思いました。

社会で縄文時代を勉強して、興味を持ちました。そこで、自由研究で加曽利貝塚や国立科学博物館に行って調べてみると、何と古代の人たちもリサイクルしていたことが分り、びっくりしました。貝からで貝輪などのアクセサリーを作ったり、動物の毛皮や骨、歯なども、むだなく活用していたのです。全部で 32 枚の紙パックを使い、大きさも本物のように 40cm 以上にして迫力が出るようにしました。上の部分は洗面器で丸く型をとり、下は、上からの力に強くなるようにじゃばら折で三角の形にしました。

歴史の本を読むと、江戸の町も高度なりサイクル都市

だったと書いてありました。上手にリサイクルすることは、今のためだけではありません。ずっと昔の人から受け継いで、未来の人に渡していく、リレーのバトンのようなもので、大切な宿題なのだと思います。

私は 6 年間、毎年このコンクールに取り組んできました。工作を楽しみながら、環境のことを考えることができました。学んだことをこれからも生かしていきたいと思っています。



## 優秀賞

### 『牛乳パケットイレ』

山崎 光将さん 神奈川県平塚市立富士見小学校 5 年

ぼくのおじいちゃん、牛乳パックは何にでも使えるすばらしい物だと思っています。牛乳パックはリサイクルもできるし、いざ災害が起きたときは、火をもやす火だねにもなります。

TV で東北の地しんや、九州の地しんを見た時に、トイレなどが無くて困ると知りました。身近にある牛乳パックで、エコで環境にやさしいものを作れないかと思い、牛乳パケットイレを考えました。

三角形におりまげて強度を強くしました。丸い形に組み立てるのがむずかしかったです。イスにもなるし、地しんがおきた時に、非常用トイレになります。



## 全国小中学校環境教育研究会賞

### 『牛にゅうパックボール』

松澤 匡さん 埼玉県川越市立霞ヶ関東小学校  
3年

サッカーが大好きですが、雨の日は外で練習ができません。そこで、部屋でも遊べるように、「牛にゅうパックボール」作りに挑戦しました。

はじめに、自分のサッカーボールをよくかんさつしました。五角形が12まい、六角形が20まいできていたことがわかりました。それぞれのかた紙をあつ紙で作って、のり代が牛乳パックのおり目にくるようにおいて、切っていきました。何まいも作るのはとても大変でした。組み立てるのはワクワクして楽しかったです。丸くなってくると、うれしくてドキドキしました。でも、できあがったボールをけてみると。角ばっていたかったです。またボールをながめ、切りこみを入れることを思いつきました。切りこみはとてもむずかしくて、何どもしっぱいをくりかえしました。手がいたくなかったけれど、かんせいした時は、一回目よりももっともっと感動しました。もったいなくて、けることができませんでした。



## 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞

### 『牛にゅうパックでワンピース』

長村 磨侑さん 岐阜県岐阜市立岐阜小学校  
5年

ファッションデザイナーに興味があるので、牛にゅうパックで妹のワンピースを作ることになりました。

まずデザイン画をかき、妹の体のサイズをはかりました。上の部分を白と黒のチェックにしたかったのに、しましまになってしまって、何回も作り直し、横を白、たてを黒にしてあみこむとチェックになりました。白黒だけではさみしいので、赤いハートをおしゃれな感じに付けました。むねの所をよせたり、かたひもも少しななめにつけるなど、立体的になるように工夫しました。

牛にゅうパックはとてもじょうぶでした。かなり力を入れないと、あめませんでした。だから、捨てるのはもったいないです。もっと使ったり、リサイクルすべきだと思います。



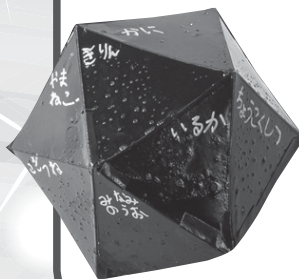
## 全国牛乳容器環境協議会賞

### 『牛にゅうパックプラネタリウム』

伊藤 将汰さん 広島県広島市立矢野小学校  
3年

星座の形に小さなあなを開けて、中に入れたあかりをつけると、かべに星座がうつるように考えました。くみ立ててりょうめんテープではり合わせるのがたいへんでした。夜、ねる前に、へやをまっくらにしてかべにうつる星座を楽しんでいます。

ぼくは、牛にゅうパックなどの紙は、リサイクルするのがたいせつだと思いました。だから、家では牛にゅうパックはあらってしげんごみに出しています。



## 日本乳業協会賞

### 『ぼくの太鼓』

田尻 大翔さん 兵庫県加古川市立加古川小学校  
1年

がっこうのおんがくかいでおおだいこをえらんだので、れんしゅうをするためにつくりました。いっぱいたたいてもこわれないように、たたくところをあみあみにしました。ちがうおとがでるように、あみあみじゃないのもつくりました。お

ねえちゃんといっしょにれんしゅうしました。おんがくかいでもうまいたたきたいです。

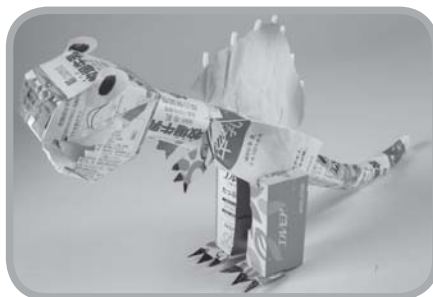




### 『きょうりゅうづくり』

松本 眺さん 広島県広島市立中筋小学校 1年

むずかしかったところは、きばをぎざぎざにきるところです。くふうしたところは、せなかのひれのほねをめんぼうでつくったところです。あたまがおもたてたおれてしまうので、しっぽのなかにねんどをいれました。いえにあるスピノサウルスのおもちゃとそっくりにできたのでとてもうれしかったです。



### 『たくさんほせるよタオルほし』

日野 琴美さん 岐阜県高山市立江名子小学校 1年

せんたくもので、ぬれてこわれてしまわないように、ぎゅうにゅうパックのうちがわのしろいところをおもてにしてつくりました。たくさんきったので、てがいたくなりました。

### 『にじいろエコひこうき』

中島 歩武さん 東京都国立市立国立第五小学校 1年

エコについてかんがえました。そして、たまねぎや、なす、こうちややしぜんのせんりょうで、いろをつけたちきゅうにやさしいひこうきをつくりました。20パックぐらいつかって、そめたぎゅうにゅうパックをいろわけてこまかくきると、のりではるのがたいへんでした。ぎゅうにゅうパックでこんなおおきなものをつかったのははじめてでした。これからも、ものをだいにします。



### 『ぎゅうにゅうパックのこま』

江崎 遼さん 大阪府河内長野市立石仏小学校 1年

くふうしたところは、こまのほんたいをしっかりとくするために、りょうめんテープをつけたことです。2つつくって、おにいちゃんとバトルをしました。たのしかったです。これからもごみになるもののおもちゃをつくって、ごみをへらしたいです。

### 『ぼくのいまの「は」』

松田 咲翔さん 神奈川県相模原市立大沢小学校 1年

ぼくの、むしばのないつよいはをつくって、きねんにかざろうとおもいました。いちばんたいへんだったところはひとつひとつしかくくはをつくったところです。ぎゅうにゅうパックははさみでなかなかきれなくて、がんじょうだなおもいました。



### 『パクパクきょうりゅう』

中西 貫太朗さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 1年

くちからエサをたべさせるとからだのなかをとっておしりからできるようにしました。とちゅうでエサがとまらないようにおなかをななめにはってくふうしました。おもったとおりのできてうれしかったです。



## 『赤ちゃんキリン』

内田 京伽さん 埼玉県白岡市立南小学校 2年

くふうしたところは、ぎゅうにゅうパックをつぶしてキリンの口をひょうげんしたところです。キリンのペロで、みんなのほっぺをキリンがなめているようにしてつかいました。

## 『ぎゅうにゅうリサイクルスカイツリー』

大倉 幸輔さん 岐阜県海津市立下多度小学校 2年

いろんな大きさの円をたくさんきるのがたいへんだった。円をまっすぐにつんでいくのもくろうしました。でん車のおもちゃであそぶ時に、町をつつてスカイツリーをかざりたいです。ぎゅうにゅうパックはきれいにあらってリサイクルすれば、いろんなものがつくれると思いました。



## 『アコーディオン』

中島 心海さん 奈良県橿原市立耳成西小学校 2年

ぎゅうにゅうパックをじゃばらおりにして、アコーディオンに見立てました。じゃばらが開きすぎないように、上下に糸をとおしました。ぬけてしまわないようにとおすのがむずかしかったです。

## 『くうきほうタコ人げん』

倉本 樹さん 茨城県水戸市立見川小学校 2年

手と足と頭がくうきほうになっていて、人げんみたいにひじやひざがまがります。口の中に玉を入れてプシュプシュすると、玉がとび出します。玉は、ティッシュをまるめたふわふわのかるいボールが出やすいです。ぎゅうにゅうパックをリサイクルして、お店ではうっていない、たのしいおもちゃがつくれるのがわかりました。



## 『牛乳パック多面体』

下村 珊瑚さん 静岡県吉田町立住吉小学校 2年

牛にゅうパックをおり紙に見立てて作りました。おり紙とちがって紙があつかったので、時間がかかりました。組み立てが大へんでした。さん数のべん強につかいました。

## 『牛乳でんきスタンド』

上田 寛翔さん 奈良県宇陀市立榛原小学校 2年

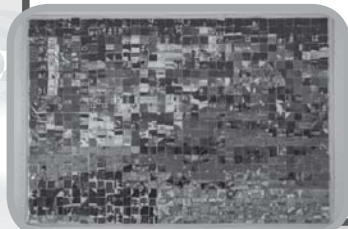
電気のつく玉と、しましまのような台のデザインを工夫した。牛乳パックを細く切るのがむずかしかった。玉と台を組み立てるのもむずかしかった。



## 『紙パックの赤ふじ』

久保田 冨月さん 埼玉県熊谷市立桜木小学校 3年

ふじ山が大です。切った紙パックをにた色ごとにわけて、下絵に合わせて選んでいきました。紙パックは色がきれいなので、絵やかざりを作るのによいと思いました。





## 『カギ入れりゅう』

石田 涼夏さん 岐阜県大垣市立墨俣小学校 4年

カギとカギがからまって出にくそうだったから、りゅうのかたちのかぎ入れを作ることにしました。テープではときたなく見えるので、なるべくボンドをつかいました。工夫したのは、牛乳パックのツルツルのところをはがしてザラザラにしたことです。顔や手のゴツゴツ感があらわせると思いました。

## 『牛乳パックを使ったかべかざり』

久保 結彩さん 福岡県小郡市立三国小学校 4年

フィルムをはがして、正方形に切って、おり紙で作るように何枚もおつて、グルーガンでとめました。バラをハートの形にならべてかべかざりにし、ベッドの横にかけました。でき上がるまでに、10日間かかりました。とてもたいへんだったけど、思ったとおりできました。



## 『梟 - フクロウ -』

東原 寛人さん 大阪府吹田市立古江台小学校 4年

羽が1まい1まいになるように工夫しました。1枚ずつ切るのがたいへんでした。フクロウの形になるようにはるのがむずかしかったです。かく度によって、羽の色がちがいます。社会見学でゴミ焼却場へ行ってきました。もやすゴミがいっぱいありました。ぼくは、さい利用できるものがあつたら、しげんの無だにならないようにしたいと思います。



## 『ゼロせん』

永見 翔輝さん 島根県津和野町立青原小学校 4年

えい画でゼロせんを見てかつこよかったからゼロせんを作ることにしました。プロペラの形を工夫しました。エンジンカバーの丸いところを作るのがむずかしくて大変でした。ぎゅうにゅうパックは、いつもは、たんでためて、リサイクルBOXに必ず持っています。

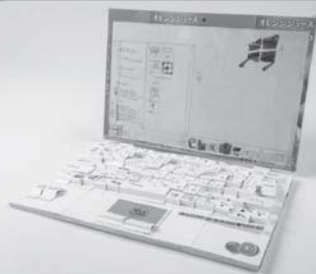


## 『大山立体地図』

高浦 七帆さん 広島県庄原市立東城小学校 4年

夏休みに、家族で鳥取県にある大山に登りました。今回で3回目ですが、登るルートが違ふと景色も道の状態もぜんぜん違いました。そこで、私が登ったルートは大山のどこを通っているのか知りたくなり、立体地図を作ってみようと思いました。お父さんに等高線の入った地図をコピーしてもらい、等高線を100メートルごとに色えんぴつでなぞり、牛乳パックに重ねてから、色線に沿ってくねくねとぎつていきました。高さは牛乳パックの底の部分をはさんで出すことにしました。手がいたくなってしまい大変でしたが、立体地図を作ってみて、自分がどこを通って頂上まで登ったのがよく分りました。





## 『エコノートPC』

飛鷹 一杜さん 神奈川県相模原市立大沢小学校 4年

パソコンが好きなので、牛乳パックでパソコンを作りました。キーを押して遊びます。画面は、他の紙で作って、変えて楽しめます。ぼくの家では、牛乳パックを洗って切ってほして、何かを作ることに使っています。ぼくがエコのことを思った理由は、地球温暖化がいやだからです。だからこのパソコンも「エコ」という名で作りました。

## 『ぎゅうにゅうパックで作った大すきなウーバー』

三浦 舞子さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 4年

家でウーパールーパーを飼っています。ウーパールーパーはきれいな水でないと生きていけません。このごろ川にゴミをすてる人がいるので、自然をたいせつにしてほしいという思いをこめて作りました。胴体は、ウーパールーパーの大きさに切ったパックを丸めて、しっぽのあたりにはパックの赤いがらをつけました。クルクルのエラは、パックのがらのあるほうをさいて作りました。みずかにあるものを使ってすてきな物を作るのは楽しいことだなと思いました。



## 『クイリングのお花』

高村 百合子さん 静岡県御殿場市立御殿場小学校 5年

牛乳パックを小さく切って、くるくる丸めるのがむずかしかったです。クイリングの色を考えながら並べて、お花のかべかざりにしました。



## 『牛乳パックの DD 51 北斗星カラー』

岡田 優真さん 茨城県日立市立大久保小学校 6年

青い牛乳パックがあったので、北斗星カラーで DD51 型ディーゼル機関車を「リアルに作る」ことにしました。テープは少なく、さしこみを増やしたのもそのためです。車体もパックを 2 本使って長さを出しました。車体よりも運転席の幅がひろいのも、工夫して作った部品で表現しました。雪よけ、はしど、車輪もしっかりそなえています。牛乳パックでリアルに作るのはむずかしいと思うところもありましたが、これからも、牛乳パックを使っていろいろな作品を作りたいと思います。



## 『ラプンツェルの塔』

柴田 梓羽さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 6年

絵本やインターネットで調べ、どんな風に作るかをノートに書いてから作り始めました。牛乳パックを塔の形にしてから・・・窓などの細かい切り抜き、2色にめり分けたかわらの配置、外かべのレンガはわざとはらずにはがれ落ちている感じをだし・・・塔の中には入れませんが、本物に近いものができてうれしかったです。おじいちゃんが休みの日には手伝ってくれて、二人でラプンツェルに取り組んだ夏休み。とてもいい思い出になりました。



